

いまま
これから

私らしく生きるための ワーク・ライフ・ バランス



週の半分くらいは
家族と一緒に
夕飯を食べたいな



仕事、家事、育児で
手いっぱい…。
一人でゆっくりできる
時間が欲しいわ

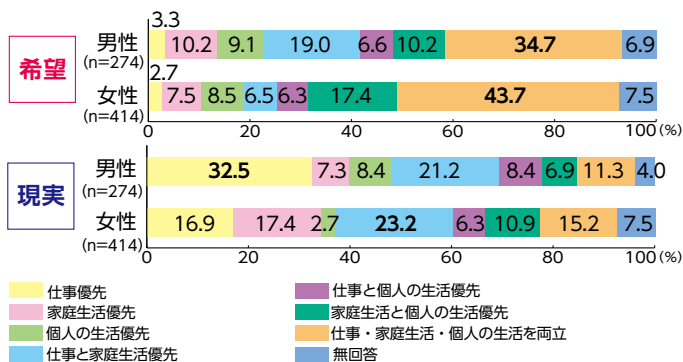
働く人の希望と現実

内閣府による男女共同参画の取り組みのひとつに、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現があります。令和元年度に大田区が実施した調査によると「生活の中での、仕事・家庭生活・個人の生活の優先度について」の「希望」では、男性・女性ともに「仕事・家庭生活・個人の生活を両立」が最も多くなっています（【表1】参照）。その一方で、「現実」を聞いてみると、男性は「仕事優先」が約3分の1で最も多く、女性は「仕事と家庭生活優先」が約4分の1で最多となっており、「希望」と「現実」に差があり、ワーク・ライフ・バランスの実現が課題となっていることがわかります。

また、「あなたは、仕事と生活を両立できていると思いますか」という質問では、「どちらかというところ、できている」が男性43・8%、女性41・1%で最も多く、「できている」も含めると約6割の人が「両立できている」と思っているようです。

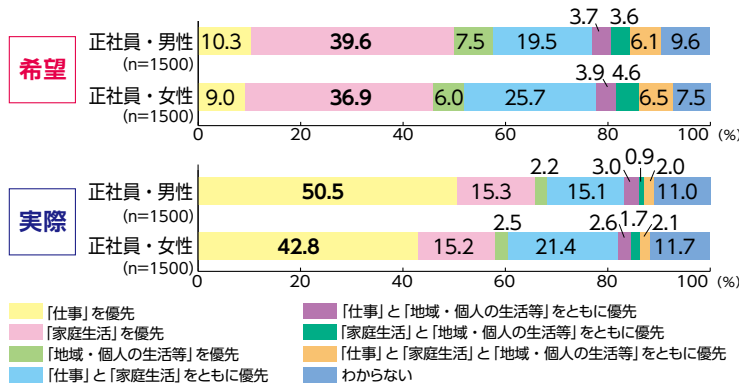
内閣府調べの日本国民全体のデータでは「ワーク・ライフ・バ

【表1】大田区調べ「ワーク・ライフ・バランスについて」
(生活の中での、仕事・家庭生活・個人の生活の優先度について)



資料引用：大田区「男女共同参画に関する意識調査報告書」

【表2】内閣府調べ「ワーク・ライフ・バランスの優先内容」



資料引用：内閣府「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）レポート 2019 ワーク・ライフ・バランスの希望を実現～多様な個人の選択が叶う社会へ～」から抜粋

ンスの優先内容」に対して、正社員の男性・女性ともに「家庭生活を優先」したいと希望する人が最も多くて約4割。しかし実際には、正社員・男性の50・5%、正社員・女性も42・8%が「仕事を優先」した生活を送っており（【表2】参照）、「希望」と実際が不一致だと回答した人は、男性も女性も約半数以上。何を優先させたいのか、希望は人ぞ

れぞれですが、現実には自分の理想とする働き方や生活ができていないと実感している人が多い傾向にあることが区と国双方の調査結果に現れています。あなたは仕事とプライベートのどちらを優先して生活していますか？ バランスのよい暮らしができていますか？

